

第 51 回東北環境設備研究会

デイスポーザ処理システムの現状と問題点

生ごみの扱いについては、従来からごみ処理技術において、生ごみの量や質の調査、焼却時の燃焼に影響する成分、最終処分場で生物分解に大きく影響する成分等が、重要な因子として扱われて、また、住民が生ごみを住宅から排出する時点での不便さの解消に多くの労力を費やしてきております。

従来のごみ収集運搬して焼却処理や埋め立て処理するシステムにかわって、最近、住宅や事業場から排出される生ごみの対応について、生ごみをデイスポーザで粉砕して、粉砕した排水は排水管を通して、排水処理装置で処理して、下水道に放流するか、デイスポーザ対応型浄化槽で処理する方式が開発され、すでに多くの建物で利用されています。

ここでは、このデイスポーザ処理システムの概要、デイスポーザ本体、排水システム、処理装置についての説明、さらにこのシステムを利用する上での問題点について、解説していただくこととします。今後、東北地方においても本格的に本システムが設置され、東北地方に普及が進むことを願い開催します。

主催：空気調和・衛生工学会東北支部

日本建築学会東北支部環境工学部会

建築設備技術者協会東北支部

日時：平成 18 年 10 月 13 日（金）13：30～16：00

会場：(株)ユアテック本社ビル 3 階大会議室

仙台市宮城野区榴ヶ岡 4-1-1 仙台駅東口から徒歩 5 分

参加費：1000 円（ただし学生 500 円）、当日会場で徴収し、領収書を発行します。

当日受付が混雑する場合がありますので釣銭のないようにご準備願います。

申し込み方法： FAX か E-mail で、「デイスポーザ処理システムの現状と問題点」と明記のうえ、氏名、所属、住所、連絡先の電話、FAX などを併記して、下記の機関までお申し込みください。

申し込み先：空気調和・衛生工学会東北支部事務代行機関

住まいと環境・東北フォーラム内（担当：柴田まりこ）

Phone：(022) 221-9042、FAX：(022) 221-9243

E-mail: htoenv@rio.odn.ne.jp

定員：80 名

プログラム

司会：東北文化学園大学 科学技術学部教授 生ごみ処理システム協会理事 岡田誠之

1. 開会挨拶 13:30～13:35
空気調和・衛生工学会東北支部支部長／新菱冷熱工業(株)東北支社 山田則行
2. 趣旨説明 岡田誠之（前出） 13:35～13:40
3. NPO 生ごみ処理システムの概要と背景 13:40～14:40
(株)ユニ設備設計 NPO 生ごみ処理システム協会理事長 小川正晃
4. NPO 生ごみ処理システム、デイスポーザ本体、排水管、処理装置 14:40～15:40
(株)INAX NPO 生ごみ処理システム協会技術委員長金子順也
5. 質疑応答 15:40～15:55
6. 閉会の挨拶 15:55～16:00
日本建築学会東北支部環境工学部会長／東北大学大学院 持田灯